

タイトル『絶望 センチメンタル』

著者：朽葉屋周太郎

出版社：メディアワークス文庫

復讐したい相手がいる
小学5年生の僕。

公園のベンチに座っていた僕の目の前に
落ちてきた

女子高生のお姉さん。

彼女は微笑んで言う。

「しょうぜ、復讐！」




弾切れ
エアガン

僕の
バット

投稿日 2017年 8月 24日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

アップルパイ 

年齢

13歳